

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	りのきっず		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 11月 2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		～ 2024年 11月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムをチームで立案している。	毎月の決まったカレンダー作りや、季節ごとの制作にも取り組み、季節の流れや数字を 日常の中に組み込んでいる。	長期休暇の時等に、普段できない経験を提供できるよう関係機関との連携を深め、機会を増やしていく。 運動プログラムにも、個々の目標を設けながら、もっと工夫を凝らした立案が出来るように取り組んでいく。
2	個別での活動時間をもうけている。	個々の目標に沿った支援を行っている。 ミーティング等で、出来ない事に対して、どんなサポート方法があるかを話し合い支援につなげている。	個別での時間に、自己決定の選択の力もつける事ができるよう、選択してもらう事も取り入れていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援の機会を提供することができていない。	保護者のご都合や、意見を聞く事ができていない。 実施できる体制が整っていない。	保護者の方へお便り等を出し、意見を聞いていく。 スタッフの外部研修を積極的に行っていく。
2	災害時の避難訓練等について。	利用回数が少ない方たちに向けての訓練が行えていない。	個別に避難についての演習等を行ってみる。 保護者の方からの不安や、疑問を聞き、回答をだす。
3	地域とのつながり	地域の方々との関わる機会がない。関わる場所や、時をどう作ればよいかわからない。行政や地域との連携が少ない。	行政機関へ積極的に足を運んだり、近くの事業所と交流を持ち地域へのつながる方法を探していく。